

一、チャーチル英海相は「二月一日以降、英國人又は英領の個人の所有船は例外なく何時でも英國政府の徵發し得るものとする」新令を發した。之即ち英國船の缺乏に中立國からの買入或は借入れの不可能になつた事を證明するもので、如何に英國が獨逸海軍を恐れず、傲語するも、事實が之を許さなくなつて來る事必定である。

一、英國の宣傳にも拘らず英國と和蘭との通商は増加する處が減衰の一方である。

一、佛國政府は嚴重なる檢閲制度を布き、戦死者の發表は一切絶對に許可しない。祖國の爲に父兄を失つた家族すら之を禁じられてゐるといふ。反戦熱の盛な事を物語るものである。

一、南フランスに大火災起り、尙燃え續けてゐる。

(二) 英語放送

一、英國政府當局は去る土曜日に淺間丸事件に關する日本政府の抗議書を交附されたが、之れに對する同政府當局の回答が甚だ微溫的で頗る要領を得ないので日本政府は再度の抗議書を同政府當局に提出することである。

一、本日大阪に於てガソリンカーの轉覆椿事が突發して死者二百二十一名、重輕傷者七十九名出したと云ふ。

内閣情報部一・三一

情報第三號

マニラ英語放送（二十九日）

（東京都市通信局轉取）

一、フランス軍當局談によれば英佛聯合軍は獨逸の潛航艇戰術に對抗する新戰術を案出し本日新たに聯合艦隊を北海方面に派遣したと云ふ。

一、フィンランド戰線に於て相變らず、芬兩軍の小競合が續けられて居るが昨日はソ聯兵はマンネルハイム全線に亘つて芬軍に對して猛攻を加へた、併し芬軍の反撃が物を言つてソ聯兵は散々な目に遭つて退却した、過去一週間のソ聯側の損害は戦死者五千、負傷者一萬五千人である、芬軍部當局は發表して居る。

一、今朝大阪に於てガソリンカーの轉覆大椿事があり、其の結果死者二百人、負傷者百人あつたと云ふ。

内閣情報部一・三一 情報第四號

モスコウ (タス) 新聞電報放送 (廿七日) (朝鮮總督府遞信局轉取)

モスコウ報

「ブラウダ」紙は「合衆國と日本」と題する論説で「日米通商條約の廢棄は決して通商關係への影響するものではない、合衆國は更に日本を壓迫する可能性を求めてゐるのである、この場合合衆國政府は二つの動機を有してゐる、(一)はアメリカ政府が現下の國際情勢と日本の難局に乘じ、日本を犠牲にして支那に於ける合衆國の立場を強化せんと努めてゐる、(二)合衆國はイギリスより有利な地位を占めんと努めてゐる、支那及太平洋に於ける日本の對抗者イギリスは合衆國自身の對抗者でもある。アメリカの對日通商條約廢棄と暫定協定締結拒否はその太平洋政策を實現せんとしてゐることを立證してゐる、歐洲の戦争に乘じて合衆國はその敵手を犠牲にし太平洋に於けるアメリカの地位を強化せんと欲してゐるのである」と述べてゐる。